

平成26年度第4回 区政モニター会議 会議録（要旨）

平成26年11月27日（木）

（昼の部）午後2時～午後3時45分

区役所 8階第一会議室

- 1 広報課長あいさつ
- 2 文化・生涯学習課長あいさつ
- 3 事業説明
- 4 事例検討 「生涯学習」
 - (1) 「中央区民カレッジ」について
 - (2) 家庭教育支援の推進について

1 「中央区民カレッジ」について

皆様の生涯学習を実現・推進する場として「中央区民カレッジ」を開講していますが、このカレッジをより充実させるため、皆様のご意見をいただきたいと思えます。例えば、このような講座があれば、ぜひ参加したい、あるいは参加者が増えるのではないかとといったご意見・アイデアがあれば、お聞かせください。

意見 以前、仕事の関係で生涯学習講座について調べたことがある。そこでわかったのは、今、全国的に公民のものを問わず、生涯学習講座はすごく衰退している。受講者を集めるためには、マスメディアに出ている有名人を講師として呼ぶしかない状況だ。また私もそうだが、自分に興味のあることは、生涯学習講座に通わず、図書館に通って自分の手で調べることが好きという人も意外と多い。生涯学習講座を取り巻く環境は今こうなっていることを、まず指摘しておきたい。

意見 今も、これからもコミュニケーション能力が問われる時代なので、この能力を高める講座があると更にいいかなと思う。

意見 2020年のオリンピックに向けて、区民がボランティア等で役立てるための講座（外国語等）を開講してはどうか。これは1年前からやっても仕方がないので、早くから取り組む必要があるし、また、これを行うことによって、オリンピックに向け、区民がどんな役割を期待されているかもわかる。

意見 「魚市場セミナー」「老舗ものがたり」「歌舞伎ものしり講座」などは、中央区らしい講座で、よいと思う。このような中央区らしく、かつ実践的に知識を身につけられる講座が増えればいいと思う。

意見 スポーツや音楽（合唱、楽器演奏等）の講座があれば、参加者も増えるのではないかと思う。

意見 生涯学習や区民カレッジとは関係ないかもしれないが、ラジオ体操を、場

所も時期も、もっと広範にやってもらえたらなと思っている。

文化・生涯学習課長（以下、課長） ラジオ体操については、現在、連合町会単位で組織されている青少年対策地区委員会のもと、青少年健全育成を主な目的として、夏休み期間を中心に区内で行われているが、早朝からラジオの音を流すこともあり、近隣住民から苦情も聞かれるなど、運営には苦勞されているようだ。

意見 若い人の参加者が少ないのは、仕事や生活に追われる世代でもあるので、仕方がない面もあるだろう。対して、比較的時間的余裕のあるシニア世代向けの講座が少ないのが気になる。シニア世代向けの講座を増やしたらどうか。

意見 高齢者向けには、健康、特に認知症を予防するためにも脳の健康に関する講座があればいいなと思う。

意見 いきいき館の学習講座に通っている。ここは区民カレッジと違い、単発の講座が多く、知識を体系的には身につけられないし、講師も専門家ではなく、ボランティアの人が多い。しかし、無料で参加も自由で、とても気楽に通えて、高齢者には向いている形態だ。だから、高齢者向けの講座は、別に区民カレッジで開講する必要はないのではないかと思う。

意見 いきいき館でやっている高齢者向けの学習講座に関しては、区の福祉担当者がもう少しバックアップしていただきたい。2年間通っているが、区役所の人が見に来ているのを見たことがない。

課長 いきいき館は現在、指定管理者制度で民間に運営を任せているが、その運営が適切に行われているかを確認するため、年に数回は必ず区役所の担当者が訪問している。ただ、その際、「私は区役所の者です」と明示はしていないので、お気づきでないだけかもしれない。例えば名札を下げるなど、区役所の人間とわかるようにすることを担当課に提案しておく。

意見 生涯学習は学びたいことを学べる範囲で進めていくものだと思うので、区民カレッジの講座も数を増やすのではなく、スクラップ・アンド・ビルドで、中身をどんどん入れ替えていけばいい。

意見 私もそうだが、あまり興味を惹かれる講座がない。個人の興味・需要は千差万別で、求める知識レベル・専門性もさまざま。また民間の類似の生涯学習講座も多くある。このような中で参加者を増やすためには、やはり多様な個人の興味・需要にきめ細かく対応していく仕組みが必要だろう。

意見 興味のある講座を見つけても、既に募集期間や開講期間が終わっていたりして、なかなか通いたい講座を見つけるのは難しいなと感じている。

意見 区民カレッジに通っているが、やはり講師の人選が大切だと思う。講師によって、おもしろくもなり、つまらなくもなる。また区が主催する講座なのだから、公平中立な人を選んでもらいたい。ある講座の講師は一応、NPO法人の方だったが、そのNPO法人の資金は某企業から出されていることまで区は調べてもよかったのではないか。

意見 「スマートフォン入門講座」では、最初、先着順で募集していて、私は応募できて喜んでいましたが、後から、応募者多数となったため、急遽、抽選に変更され、抽選に漏れ、結局、受講できなかった。このようなことは二度とないようにしていただきたい。

2 家庭教育支援の推進について

ここ10年ばかり、家庭の教育力の低下が指摘されてきて、現在、その対応がますます重要となっています。区では平成16年度に地域家庭教育推進協議会を設置し、家庭教育支援事業を展開してきました。核家族化の進展や地域社会での人々の交流が希薄化していく中で、子育て家庭を地域で支援し、また子どもたちの健全育成を地域で推進していくために、更に必要と思われることや、区の取り組み状況について、ご意見をいただきたいと思えます。

意見 利用した友人に聞くと、区のファミリーサポート制度はとてもよかったとのこと。また同制度を利用したことをきっかけに近所のおじいちゃん・おばあちゃんと顔見知りになって、地域とのつながりが持てたと実感できたと言っていた。このようなサービスのPRに努めたほうがいい。

意見 地域で子育て支援を推進するためには、町会組織・活動の強化がまず必要かと思う。最近はマンション居住者が多く、町会への入会者も減り、町会が機能していない。

意見 町会の役員として、時期が来ると餅つき大会をやっているが、このようなイベントには子どもがいると親も参加しやすいものだ。日ごろから、各人がご近所との交流に努めていけば、自然と地域として子育ての支援もできるのではないかと思う。

意見 子どもが参加できる地域でのイベントの実施（祭り等）や場所の確保（再開発時に広場の設置を行政指導する等）といった環境整備がまず必要ではないか。そうすれば、それをきっかけに地域とのつながりも持てるだろう。

意見 家庭教育支援ということで親子関係を重視した取り組みが多いように思うが、子どもが他者とどう関わっていくかという教育も重要だと思う。例えば障害者と関わることで、いじめも少しは減るのではないか。

意見 スポーツや武道、あるいは遊びでもいいから、子どもたちが体を動かし、鍛える取り組みを行ってはどうか。子どもは指導者の言うことはとてもよく聞くので、そこで礼儀を教えていけばいい。

意見 家に閉じこもりがちな子育て中の、特に就学前の子どもを育てている母親も少なくないので、離乳食講習会等の案内を対象者に郵送し、出席を促してはどうか。

意見 家庭教育支援事業においては学校関係者があまり前に出てこないが、講演会等において、現場の経験者の話を聞ければ、聞く側も満足感が増すのでは

ないかと思う。

意見　　子どものいない私にどのぐらい発言の資格があるかはわからないが、やはり子どものしつけは、自治体がやるべき仕事ではなく、家庭の責任だと思う。もちろん子育てや学校に関する相談は生活に関連する大事なことなので、これは自治体でやるべきだが、区は既に十分、子育て家庭支援に関しては税金を使っているのではないかと思う。

意見　　私も他人の子どもに注意したことがあるが、注意された子どもはきよとんとするだけで、謝りもしない。そんな子どもたちが家に帰って、母親に私のことをどう話しているかと思うと、注意するのも考えものだと思っている。こういったしつけの問題は区が何かできることでもないし、するべきでもないと思っている。

意見　　他人の子どもに注意すると、その親から文句を言われることが多く、最近では、もはや注意しないようにしている。しかし、これではやはりだめなので、社会として家庭教育を推進するようなキャンペーンをしてみてもどうか。

— 了 —